

大里小だより

5月号

令和4年5月20日

※学校だよりは、校長が作成しております。

学校公開日（5/17・18）にご来校いただき、ありがとうございました。「マスクを着け、しゃべらずに廊下から参観する。2限目か3限目か、どちらかの参観にする。」という感染症対策を守っていただけたことで、安心しました。来月の学校公開日も実施できます。楽しみにしてください。

遠足

4月28日、全学年で中勢グリーンパークへ行きました。6年生がリーダーとなって縦割り班活動をするのが目的の一つです。6年生はとても頑張ってくれて、縦割り班遊びを通して1～5年生の子どもたちの笑顔が、咲き誇るシロツメクサの花の数よりもたくさん広場にあふれていました。もちろん、6年生自身も楽しんでいたと思いますし、活動を終えて満足そうな顔をしていたのが、他の学年と違って印象的でした。6年生のみなさん、ありがとう。

縦割り班活動は、6月の集会、9月の運動会へとつながっていきます。成長していく6年生と深まっていく縦割り班の絆が楽しみです。



水泳授業の実施について

この2年間実施しませんでした。今年ができる限りの新型コロナウイルス感染予防策を取って実施します。普段行っている体育の授業でもそうですが、マスクを外しますので密にならないよう、接触のないように工夫します。どうかご了承ください。

具体的には、プールに入る人数が多ならないように、これまで1・2年、3・4年、5・6年で合同授業をしていましたが、学年ごとに実施します。監視員として校長・教頭も参加します。着替えるときは、プールの更衣室は狭いので女子は多目的ホールを、男子は空き教室を使います。室内の使い方、使用後のアルコール消毒も指導します。マスクは着替え中も着用し、プールに行って準備体操が終わってから外します。「できるだけ2m最低1m」の距離を保って、シャワーを浴びたり、水遊び・水泳をしたりします。そのため授業のモデルを考え、活動ごとに感染対策のシミュレーションをしました。ビート板

等共用しますが、適正塩素濃度に保ったプールの水質により、ウイルスの心配はほとんどないと考えます。

このような対策を取りますが、ご心配な方は、お子さんの水泳の授業は見学とすることができますので、担任にお伝えください。

教育ファームについて

今年も東海農政局や三重大学農場の協力で、教育ファーム事業を実施します。学年ごとに、次のような農業体験をさせていただくことになります。

1・2年生「サツマイモ収穫」、3年生「大豆の播種(はしゅ)、収穫、豆腐作り」、4年生「茶摘み・製茶」、5年生「田植え、稲刈り・脱穀」、6年生「ミカン収穫」です。

学校としては、農業体験をするだけでなく食教育と結びつけます。また1・2年生ならば生活科の学習と、3年生ならば国語科の学習と、4・5年生は社会科の学習と、6年生は大学の研究職という職業のことを学ぶキャリア教育とかかわらせて、体験・経験から豊かな学習へと膨らませていきたいと計画しています。



詳しくは、実施後の学年だよりをお楽しみにしてください。

※5/19 4年生は茶摘み・製茶体験をしました

幼小連携

大里幼稚園と本校の1年生は、幼稚園から小学校への接続がうまくいくように教員同士情報交換や研修をしながら、年間を通して園児と1年生の交流に取り組んでいます。

1年生は、生活科で行う「お店屋さん」に園児を招待して遊んでもらったり、普段の授業の様子を見てもらったりしました。幼稚園は、すてきな作品展に1年生を招待してくれました。コロナ以前には、運動場で水遊びやシャボン玉遊びをしたこともありました。

様々なことをバーチャルリアリティで体験することができるようになってきた昨今、原体験を幼少期にどれだけ蓄えられているかが重要だと言われています。1年生も、まだまだ様々な体験を大事にしていきたいところですので、幼児教育に学ぶことが多いです。

今年はさらに、小学校で1年生から当たり前になることになったタブレット端末のことを、園児に知ってもらう交流会をしようと計画しています。将来のために、ICT(情報通信技術)も身につけなくてはならない子どもたちです。

このように、子どもの発達から、幼稚園と小学校とで役割がきっぱりと別れるものではありませんので、うまくつながるよう幼小連携をしています。